

出演者PROFILE



©Junichi Takahashi

ギター奏者

村治奏一 Soichi Muraji

オフィシャル・ホームページ

<https://www.soichi-muraji.otohako.jp/>



東京生まれ。幼少よりギタリストの父・村治昇の手ほどきを受け、福田進一、鈴木大介の両氏に師事。1998年第41回東京国際ギター・コンクール他数多くのコンクールで優勝。'99年米国に留学し、D.レイズナー、E.フィスク、D.スタロビン教授に師事。'06年ワシントン、ケネディ・センター公演にて本格的に米国デビュー。'08年、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団の世界ツアーにソリストとして抜擢。また、'12年には『トヨタ・クラシックス・アジア ツアー』のソリストに抜擢され、ウィーン室内管弦楽団と共演、アジア5か国でのツアーを成功させた。

録音は、ビクターエンタテインメントからリリースした『シャコンヌ』が、レコード芸術誌の特選版に選ばれたのを皮切りに、キングレコードからのコンチェルトアルバム『カラージュ・デ・アランフェス』を始め、バッハから映画音楽までこれまでに10枚以上のソロアルバムを発表し、インターネット配信アルバム『TONES 2019』のYouTube・Apple Musicほかでの公開や缶バッチ型アルバムの発売など、意欲的なリリースを行っている。

これまでにリサイタル、室内楽を始め、NHK交響楽団ほか国内外の様々なオーケストラとの共演や、NHK『スタジオパーク』、TV朝日『題名のない音楽会』、『徹子の部屋』を始めとする多数のメディア出演、NHK-BS『街道てくてく旅〜熊野古道をゆく〜』のテーマ曲の作曲・演奏など多彩に活躍している。また'19年からは東京の下町、浅草橋にあるアートギャラリーにおいてプレミアムライブ『TONES Live』をスタート。そこから派生し、現在全国各地のカフェやギャラリー、お寺等でも演奏し注目を集めている。また、最近では大規模言語モデルを利用した『A.I. 村治奏一』を公開し、ファンとの交流を深めて話題になっている。会話型AI構築プラットフォーム『miibo』公式アンバサダー、及び台東区観光大使も務める。



杉並児童合唱団

WEBサイト

<https://www.sugi-ji.jp/>



杉並児童合唱団(杉児)は、1964年に東京都杉並区で誕生しました。時を同じくして放送がスタートしたNHKの子ども向け音楽番組に14年間レギュラーとして出演し、『楽しくなければ音楽ではない』という団のモットーを『楽しい演奏』を通じて実践し、今の杉児にも脈々と受け継がれています。

現在3歳から大学生まで約230名が在団しています。週2回のレッスンや毎年夏の合宿などを通じ、団員同士が支えあい、助け合って共に成長することで、仲間の大切さを実感しながら、より魅力ある音楽づくりにつなげています。

年2回の都内での演奏会をはじめ、夏休みの演奏旅行、テレビ番組への出演、CM等のレコーディングや舞台、各種イベントへの出演など『楽しい音楽』を多くの皆さんにお届けすべく、さまざまな活動を積極的に行っています。

児童合唱界を牽引すべく、創成期より今日に至るまで『合唱ミュージカル』、映画音楽やポップスなどをアレンジした『杉並ポピュラー』など、新たな楽曲の開発にも力を入れており、数多くの作品を委嘱し、発表(初演)しています。また、世界の民謡やピアノ曲・交響曲などを児童合唱曲に編曲することで、クラシックの名曲の数々を身近に楽しんでもらうことにも注力しています。

創立以来60年の伝統を大切にしつつ、これからも指導者および団員が心を一つにし、夢が広がる楽しい演奏をお届けしてまいります。

TICKET

チケット購入



チケットぴあ



<http://ticket.pia.jp/pia/event.ds?eventCd=2406661>



スマホの方はこちら



一般社団法人全日本こどもの歌教育協会



スマホの方はこちら

https://www.sing.or.jp/kids_dreams_concert2024/



公式SNS



YouTube

Instagram

